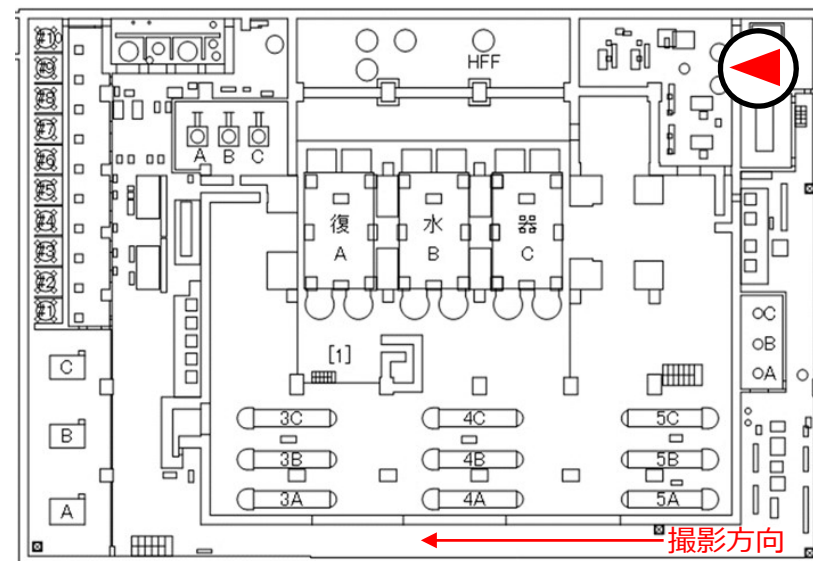


- 6月18日午前8時33分頃、6号機M/C（高圧電源盤）6Cが電源停止し、それに伴いディーゼル発電機6Aが自動起動しました。また、同時刻に6号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ（B）がトリップしたことを確認しました。
- 午前8時35分頃、6号機タービン建屋地下1階において火災報知器が作動しました。午前9時30分頃、当社火元確認者が現場において、火気がないこと、煙が発生していること、ならびに徐々に視界がよくなっていることを確認しました。
- 午前11時33分頃、公設消防により発煙が停止していることが確認されました。当社による現場調査結果を踏まえ、後日、公設消防により火災に係る判断をいただきます。なお、本事案発生時に当該箇所近傍での作業は行っていません。本件において、傷病者はありません。
- 6号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ（B）については、午後4時30分現在、再起動に向けた準備を進めております。なお、使用済燃料プールの水位・水温に、有意な変動は確認されていません。
- 各プラントの安定状態を維持する機能は運転を継続しており、モニタリングポスト、敷地境界連続ダストモニタのパラメータについても有意な変動は確認されていません。



6号機タービン建屋地下1階 写真



6号機タービン建屋地下1階 平面図

<参考> 福島第一原子力発電所 構内配置図



福島第一原子力発電所 構内配置図